

【件名】栗山町橋梁長寿命化修繕計画策定業務

メルテックコンサルタント(株)が実施した上記計画策定結果については、
技術的な観点から妥当であることを確認した。

北海学園大学 工学部社会環境工学科

教授 杉本 博之



意見・コメント

策定された長寿命化修繕計画については妥当なものと認められるが、今後の維持管理や補修設計にあたっては、下記の点に留意することが望ましい。

(1) 中央橋や山の手橋は、架設後間もないが著しい漏水が見受けられる。そのまま放置すると凍結融解等による劣化の原因となるため、現地の再確認を行い「水みち」の遮断に努めてもらいたい。

(2) 橋面防水を予定している橋梁については、対策後遊離石灰の清掃を行い補修効果の確認に努めてもらいたい。

(3) 王子橋や湯地1号橋は、床版のひび割れや遊離石灰の発生等損傷が著しい。床版の部分的な補修では延命化の効果が低いことが予想されるため、補修設計の際には全面打ち替えを含め総合的な比較検討に努めてもらいたい。

(4) 鳩山橋は床版の損傷が著しく現段階で床版の増厚工を提案しているが、下部工への荷重の増加の影響を含め対策工の決定に当たっては検討を要する。

(5) 全体として伸縮装置の取り替えを予定している橋梁が多いが、取り替え後の漏水の状況を良く確認し効果的な対策となるよう努めてもらいたい。

(6) 排水柵や支承周りの清掃等、橋梁の長寿命化には大きな影響を及ぼすため、普段からきめ細かな日常管理に努めてもらいたい。